

上田仮説サークルニュース		8月例会	2016.08号
編集責任 遠藤 裕		発行2016.9.24	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サカゲテン中野 B-G Tel 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 Tel 026-227-8555			

8月27日(土) 上田中央公民館 3F第1・第2会議室
午後3:00～6:00



参加者数6名 資料総ページ 31 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 北村知子さん, 田中浩寿さん,, 渡辺規夫さん,
高見沢一男さん, 遠藤裕

はじめに 8月例会の参加者は6名。

発表は, 北村知子さんから2本, 柳沢さんから2本, 田中さんから3本, 渡辺さんから1本の合計8本の発表がありました。

知子さんは, 「DNAストラップ」と「マグナス効果を体験できるおもちゃ」を作る準備をしてくれ, 実際にみんなでたのしく作りました。その作り方を手書きでわかりやすく説明した資料です。マグナス効果のおもちゃはみんなでコップを飛ばして体験。

柳沢さんはこのところずっと続いている「読書メモ」で7冊の本を紹介。『「文系学部廃止」の衝撃』, 『「大発見」の思考法』, 『一神教と国家』, 『「憲法改正」の真実』の4冊は, ヘソになる部分や気に入った部分, 興味深い部分が紹介されています。

田中さんは, 小学校の2学期始業式での講話と『内外教育』の記事2本を紹介。2学期の始業式では, 生徒さんを前に偏光板を用いた実験をしながらのお話で, 生徒さんもたのしくお話を聞いたことと思います。

渡辺さんは, 竹内三郎さんの講演のメモを発表してくれました。渡辺さんは上田でもこのような会をやりたいとのこと。

増田さんは, 都合で例会には出席できませんでしたが暑気払いに出席。ガリ本『イスラム教とアラブ戦争をすれば疲弊するー』(増田伸夫著 上田仮説出版・中野本社)と資料「信州岩波講座 2016 講座I 高橋源一郎 講演: 言葉の復興のために」のメモを暑気払いの会場で紹介してくれました。(詳細は次回の例会でお聞きできるかもしれません。)

終了後は, 暑気払い。会場「いろはにほへと 上田店」(平安堂上田店隣り)。会場は田中さんが設定してくれました。参加者は9名。増田さん, 大塚さん, 坂口さんが暑気払いに合流。それぞれいろいろな話題で話がはずんだ会でした。

1. 発表資料

① サークルニュース 7月例会 遠藤 裕 (6ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 6月例会 遠藤 裕 (9ペ)
- ② 読書メモ2016年6・7月 - 『イノベーションと企業家精神』ほか -
柳沢克央さん(6ペ)
- ③ <牧: 今月のお話8> 本物の経営管理 増田伸夫さん(8ペ)
- 企業は人を大事にする -
- ④ <渡辺: 今月のお話1> 仮説実験的認識論にもとづく運動 増田伸夫さん(8ペ)
- 牧衷運動論に学ぶ -
- ⑤ <渡辺: 今月のお話3> 大敗北から退却を学ぶ 増田伸夫さん(8ペ)
- 「あきらめの教育学」と「上手な負け方」 -
- ⑥ ミニ問題集<3つの一神教>-ユダヤ教, キリスト教, イスラム教-
増田伸夫さん(12ペ)

<3つの一神教>を学ぶための問題集。

- ⑦ 牧衷さんの談話2015年夏の大会 渡辺規夫さん(4ペ)

6月例会で渡辺さんが発表した「シャルリー・エブド社襲撃事件をどうとらえるか」のもとになる原稿の紹介。

② DNAストラップを作ってみませんか 北村知子さん(1ペ)

DNAストラップの作り方の紹介。

フェイスブックで以前、北海道の前崎彰宏さんが紹介していたDNAストラップ、この夏の伊香保大会での資料を眺めていたら、同じものを紹介しているレポートがありました。

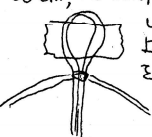
ひもを手芸店で買ってきて、作ってみたところ、簡単に作れました。前にビーズを使って作るDNAストラップを作ったことがありましたが、ビーズの孔に糸を通すのが大変で、老眼にはきびしいと思いましたが、ひもでつくるストラップは目に優しく作れたので紹介します。

材料の準備はひもを用意するぐらいで気楽にできますよ。

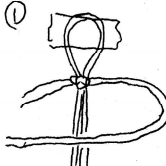
<準備><編み方>右図参照

<準備>
 ひも(または糸・・・タコ糸でいいのですが、色がついていないと寂しいので手芸店に行くとき色々売っています。直径1mmくらいのもので、私が買ったのは天然麻100%の亜麻(リネン)という糸 10mで400円くらいでした)
 セロテープ(ひもを編むときに押さえるのに使う)、ボンド、はさみ、お好みでビーズ


<編み方>
 30cm, 70cmの糸を用意する。
 ① ② ③



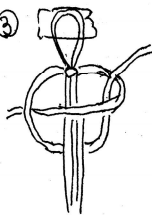
① ② ③ 糸(30cm)の上から2~3cmのところを長い方の糸でしばる。



① ② ③ 右の糸を①の糸の上に。



② ③ ④ 左の糸③の上にあいてから、①の糸の下をくぐらせる。



② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

①~④をくり返し、最後は4本の糸をビーズに通す。2本ずつしばりておくと、糸の端はボンドで固めておくよ。

(知子さんも書いていますが、ビーズを使ったストラップは年を取ってくると作るのが難しいです。このストラップは、最初に編み方さえわかれば、おなじ編み方の繰り返しなので簡単です。授業で生徒さんに作ってもらうのに良さそうです。 エトワ)

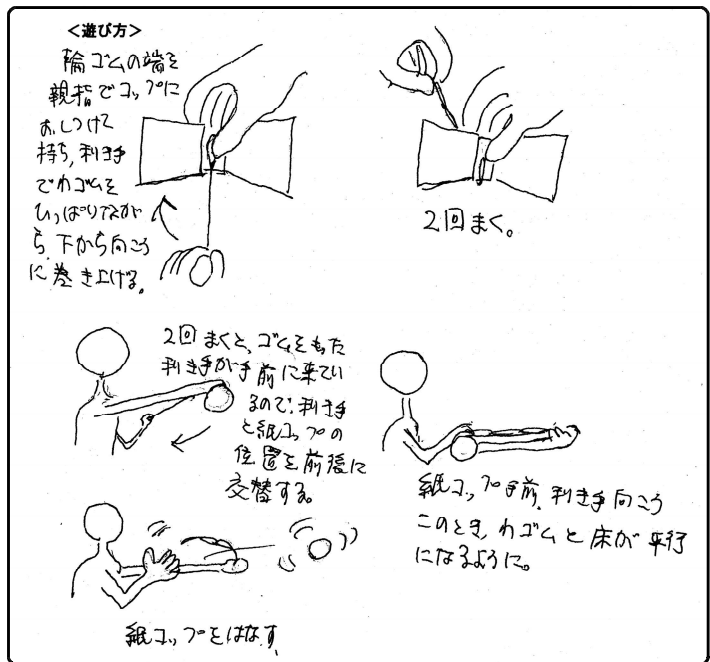
③ マグナス効果を体験できるおもちゃ作り 北村知子さん (1ペ)

マグナス効果を体験できるおもちゃ作りの紹介。

『マグナス効果』という言葉があるとは知らなかったのですが、この夏、宇都宮であった「たのしい授業体験講座」で千葉の佐々木邦道さんに教えてもらいました。

紙コップ 2 個を底どうし向かい合わせてテープでくっつけます。これと輪ゴムを 3 個つなげたものを用意します。これでおもちゃ作り終了。

<遊び方> 右図参照



(マグナス効果は百科事典マイペディアによると「回転している物体に流れがあたるとき、流体の流れと回転軸の両方に垂直で、回転によって流れが加速される側に向く力が働くという現象。」「野球のボールがカーブするのはこのためである。」「1852年ドイツ人 H.G.マグナスにより研究された。」とあります。簡単に作れて、実験で実際に自分で確かめられるのがいいですね。 エトワ)

④ 読書メモ2016年7・8月 - 『「文系学部廃止」の衝撃』ほかー

柳沢克央さん(16ペ)

柳沢さんが7月、8月に読んだ本の読書記録、読書メモの紹介。

◇はじめに

いつもの「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく(適当に)おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、

引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。

(私物)と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

◇読書記録または読書メモ (順不同)

- ◎吉見^{しゅんや}俊哉著『「文系学部廃止」の衝撃』(集英社新書・2016年)
- ◎山中伸弥・益川敏英共著『「大発見」の思考法』(文春新書 789・2011年)
- ◎内田樹・中田考共著『一神教と国家』(集英社新書 0725・2014年)(私物)
- ◎R・P・ファインマン著・大貫昌子訳『ご冗談でしょ、ファインマンさん(下)』(岩波現代文庫・2000年)(私物)
- ◎樋口陽一・小林節共著『「憲法改正」の真実』(集英社新書 0826・2016年)
- ◎山我^{やまが}哲雄著『キリスト教入門』(岩波ジュニア新書・2014年)
- ◎本村凌二著『多神教と一神教—古代地中海世界の宗教ドラマ—』(岩波新書 967・2005年)

◇まとめ

夏休みの時間を使って普段より少し多めに本を借りて読むことを計画。しかし、今回はアタリの本の割合がやや少なく、「点検読書」でおしまいにしてしまった本が複数あった。でも、こうして記録を取っておけば、また借りたくなるときにすぐ借りられるだろう。

それと、今回の特徴は対談形式の本が多かったこと。語り下ろしの本は確かに読みやすい。問題意識が本の内容と合致すれば有意義だ。(次号に続く)

(『「文系廃止論」の衝撃』、『「大発見」の思考法』、『「憲法改正」の真実』の3つは、「ヘソ」に当たる部分の柳沢さんの引用が当を得ていて、読んでいておもしろかったです。『一神教と国家』は、やはり柳沢さんと同じく自分の知識不足で理解が難しく感じました。 エトワリ)

⑤ 信毎記事の紹介：思い出される玉音放送 原武史 柳沢克央さん(1ペ)

—「お言葉」から見えるもの—思索のノート 未来への切符

8月8日の現天皇の「お言葉」と昭和天皇の「終戦の詔書」を比較した信毎の記事(2016.8.27)の紹介。

要約 連合軍側からつけつけられたポツダム宣言を受諾することが「国体」の護持を意味するの否かをめぐって、当時の鈴木貫太郎内閣の閣僚の間では意見の一致を見なかった。こうした状況の中、昭和天皇は、受諾しても「国体」は護持されるという「政断」を下し、自らラジオを通して直接国民に語りかけるという前例のない決断をした。現天皇は、数年前から生前退位を望んでいたという。歴代の内閣はこの問題に対して確固とした姿勢を示すことができなかった。その結果、現天皇は玉音放送を行った昭和天皇同様、テレビを通して自らの意思を示すという前例のない手段に打って出たという見

方もできよう。それだけではない。今回の「お言葉」から、昭和に確立された「国体」が、平成の現在もなお継承されていると見ることも、決して不可能ではないのだ。

ただし玉音放送との重大な違いもある。あくまでも憲法や皇室典範の枠内にあった昭和天皇とは異なり、現天皇の「お言葉」には皇室典範の改正を促す文章が明らかに見られる。つまり今回は、天皇が政府に法の改正を事実上公然と命じるといふ、明治から戦前までの天皇制にもなかった状況に立ち至っているように見えなくもないのだ。

これは天皇が法の上に立ち専制的な権力を持つことを意味する。即位当初から護憲の姿勢を明確にしてきたはずの天皇がこうした権力を持つことを、一体誰が予想したのだろうか。

柳沢さんの資料へのメモ 「法治主義」の危機と見るのは悲観的だろうか。

(私は心情的には現天皇の「お言葉」は理解できるような気がします。これが国家とかが関わってくると大変難しい問題になってくるわけですね。推移を見守りたいと思います。 エドワ)

⑥ 川上小 2学期始業式の講話 田中浩寿さん (2 ぺ)

田中さんが校長をされている川上小学校の2学期始業式での講話。

パワーポイントでの資料で、15枚のフレームで構成。とても楽しそうなのは、最後の5枚での偏光板の実験のお話(下)。田中さんが一番お話ししたかったことのようにです。

さいごに、
なつやす じつけん
夏休みに、わくわく実験。

へんこうばん ふしぎ
「偏光板」の不思議。

にんげんかんけい おうよう
人間関係に応用すると...

もんだい
問題1

へんこうばん む まいかさ
偏光板をおなじ向きに2枚重ねたら？

ア 黒くなる

イ ほとんどかわらない

もんだい
問題2

へんこうばん かいてん ちよつかく
偏光板を1枚だけ回転させて直角の向きに横にしたら？

ア だんだん黒くなる

イ ほとんどかわらない

もんだい
問題3

ちよつかく まい へんこうばん ま
直角にクロスした2枚の偏光板(真黒)の間にもう1枚ななめに入れたら？

ア まつろのまま、かわらない

イ すこしは光がみえるようになる

じつげん にんげんかんけい おうよう かんが
実験から、人間関係に応用して考えてみると、

「なかよく助け合う子に」・(ねがい)

では、よい2学期にしましょう！

おわり

(田中さんは校長先生としての講話の中でもうまく仮説実験的な手法を生かしているようですね。

エンドリ)

⑦ 紹介：わたしの学校経営 「みんな」で「いい学校」を創る 田中浩寿さん（1 ペ）

『内外教育』（2016.2.2）に掲載された内堀繁利氏（上田高校校長）の文章の紹介。

「小学校入学以来の憧れの職業も定年まで2年余りとなった。・・・校長として大切にしてきたことをいくつか書くことにしたい。」ということで、次の5つが紹介されています。

1. 「すべての責任を取る覚悟と姿勢」
2. 「自由で前向きな雰囲気の醸成」
3. 「大きな方向を保つこと」
4. 「学校の顔としての役割を全うすること」
5. 「持続可能な仕組みの構築」

（学校現場では、やはり校長先生の姿勢が職員に大きく影響を与えたいと思います。いかに職員のやる気を育てるか。管理職の先生にはそのことを自覚していて欲しいです。 エンドリ)

⑧ 紹介：高校の通級指導 田中浩寿さん（1 ペ）

『内外教育』（2015.12.11）に掲載された菱村幸彦氏の記事の紹介。

11月17日、文部科学省は「高等学校における特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議」の初会合を開き、高校における通級による指導（以下、通級指導）の制度化について検討を開始した。文科省は、協力者会議の検討結果を待って、2016年にも学校教育法施行規則を改正し、17年度からの実施を目指しているという。

以下は高校での現状の要約 高校では小・中学校に比べ、特別支援教育の取り組みが遅れている。高校にも特別支援学級を置くことができると規定（学校教育法81条）しているがまだ置かれていないし（一部の高校では特別支援学校の分教室を設置している）、

通級指導も制度化されていない。高校進学率は98%を超え、近年のインクルーシブ教育推進の観点から、高校における特別支援教育は不可避になっている。高校の通級指導の制度化に当たっては、高校特有の問題についての検討が求められる。例えば、通級指導教室に通う高校生の心理的な抵抗に対する配慮、教育課程に位置づけるに当たっての問題、課程ごとの課題、担当教員など、検討すべき課題は多い。

(高校現場では、なかなか学習に適應できない生徒さんがいるのは事実です。授業に耐えられなく我慢するしかない今の現状を、なんとか制度面でも改善できる手立てを早急にしていく必要を感じています。 エンドウ)

⑨ 竹内三郎講演会メモ 渡辺規夫さん (2ペ)

今年の6月、高知大学で行われた竹内さんの講演会のメモ。(6/4(土)・6/5(日))
高知の松田さんの企画。渡辺さんはこのような会を上田でやりたいとのこと。

- ◇分類を教える 人とうまくいかない人は分類が不得意
- ◇民間教育団体の歴史 戦争で沢柳政太郎の教育は失われた
- ◇政治嫌い 東欧の崩壊と『ピーチャと学校ともだち』の絶版、教員組合の分裂と仮説会館
- ◇社会主義の崩壊と民間教育団体の衰退 仮説実験授業は政治団体ではないので政治情勢で衰退することはない
- ◇三浦つとむについて 二つの欠点(自分は絶えず進歩している、人・物事の評価が速い)
- ◇あとがき 今回はメモをもとにまとめました。高知から講演記録が出ることを期待しています。一番興味深かったことは、民間教育研究団体の歴史です。政治的に作られた研究会は政治的に衰退していくことは教訓的です。

(竹内三郎さんの講演は是非お聞きしてみたいと思います。仮説社で仮説関係の本を出版してきた方ですので、とんでもないおもしろいお話がお聞きできるかもしれません。 エンドウ)

2. もの作り

講師 北村知子さん

<DNAストラップ> (発表資料②)

<マグヌス効果を体験できるおもちゃ> (発表資料③)

あとがき 9月中旬以降は雨の日が多く、あっという間に秋めいてきました。

気温もだいぶ下がり、半袖では少し寒いような日が続いています。

9月16日から就職試験が始まりました。求人数はかなりよいとはいえ、製造業では、おとなしめ子は採用が厳しいようです。高校3年生で一生の仕事(?)を決めなければならないといのは、生徒さんにとってもものすごいプレッシャーだと思います。うまく自分に合った仕事に巡りあえるといいのですが。



(エンドウ)

★ 今後の予定 ★

10月22日(土)

11月26日(土)

12月17日(土)